③ 認証用端末変更

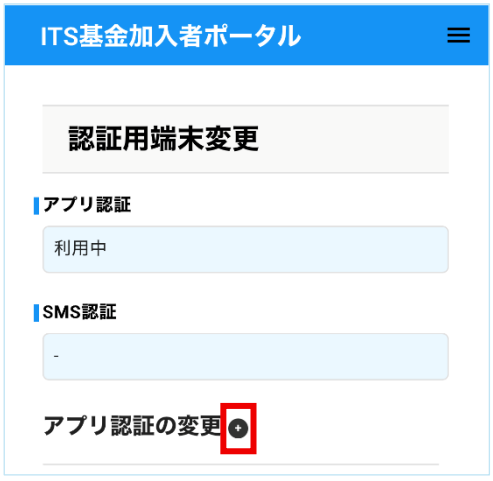
多要素認証の設定を初期化する機能です。初期化後に新しい端末と加入者ポータルを紐づけることで認証用端末を変更することができます。

「設定」画面で「認証用端末変更」ボタンを押すと、画面が遷移します。

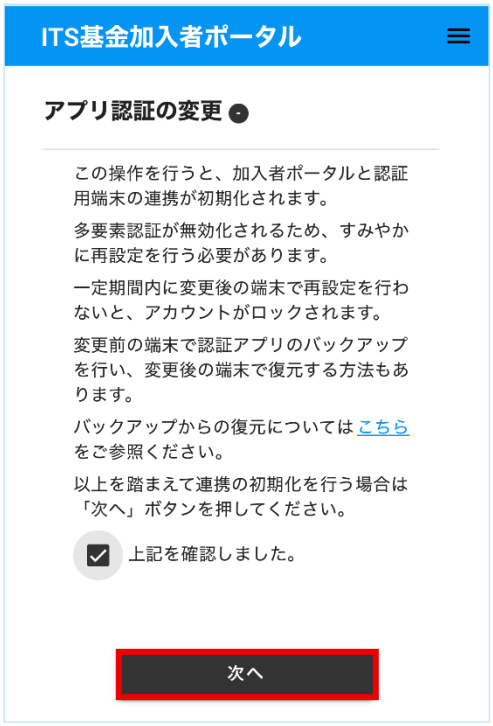
まず、アプリ認証を初期化する手順を説明します。SMS 認証を初期化する手順はこちらをご参照ください。

◆アプリ認証の初期化

1.「アプリ認証の変更」の右にある「＋」を押します。



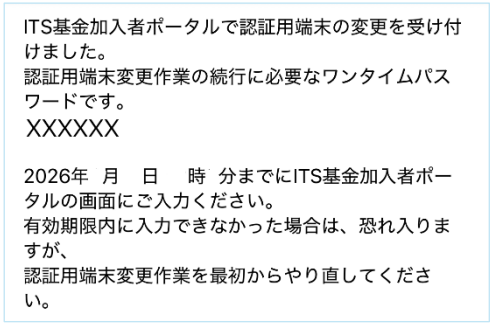
2. 表示される注意事項を読み、問題がなければ、チェックボックスにチェックを入れて「次へ」ボタンを押します。



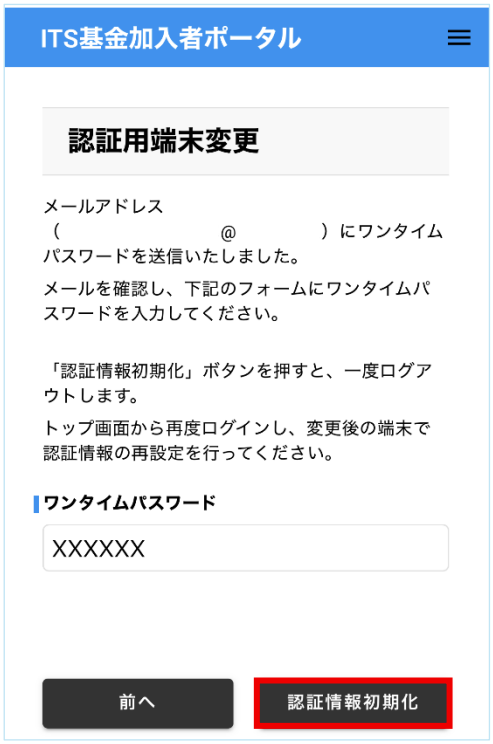
※変更前と変更後の端末がどちらも iOS 端末である場合、または変更前と変更後の端末がどちらも Android 端末である場合は、変更前の端末で認証アプリのバックアップを行い、変更後の端末で復元する方法もあります。詳細はこちらをご参照ください。

3. メールアドレスへワンタイムパスワードを記載したメールが送信され、加入者ポータルはワンタイムパスワードを入力する画面に遷移します。ワンタイムパスワードを入力し、「認証情報初期化」ボタンを押します。

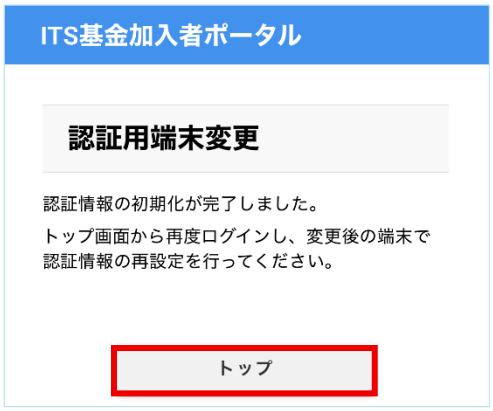
メール



加入者ポータル


ITS基金加入者ポータル
認証用端末変更
メールアドレス
（ @ ）にワンタイムパスワードを送信いたしました。
メールを確認し、下記のフォームにワンタイムパスワードを入力してください。
「認証情報初期化」ボタンを押すと、一度ログアウトします。
トップ画面から再度ログインし、変更後の端末で認証情報の再設定を行ってください。
ワンタイムパスワード
XXXXXX
前へ
認証情報初期化

4. 次の画面に遷移すれば、認証情報初期化は完了です。



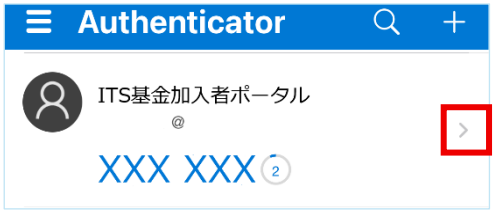
トップ画面に戻り、認証方法を「アプリ認証」または「SMS 認証」のどちらかから選択して再度ログインすることで、新しい端末と加入者ポータルを紐づけます。この作業は初回ログインとほとんど同じになりますので、アプリ認証の場合はこちら、SMS 認証の場合はこちらをご参照ください。

ただし、入力するパスワードは初期パスワードではありません。サインイン画面でメールアドレスとご自身で設定したパスワードを入力すると、「パスワードの変更」画面を経由せず、直接「アプリ認証」画面または「SMS 認証」に遷移します。

※認証情報初期化後、10 営業日（基金事務局の営業日）以内に再ログインの作業を完了させないと、アカウントがロックされます。アカウントがロックされた場合は基金事務局または事業所管理者へご相談ください。

※認証アプリから加入者ポータルのアカウントを削除してください。

ｉ 削除するアカウントの右側にある「＞」を押します。

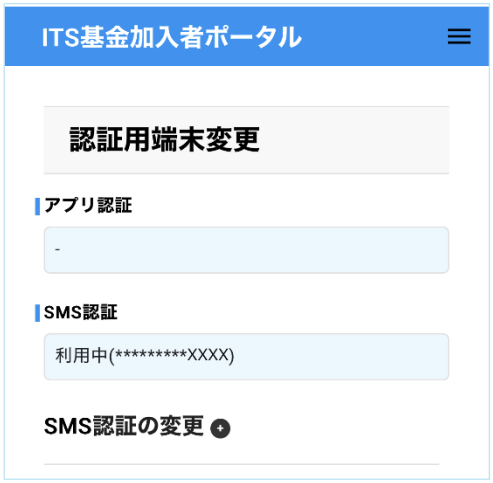


ii 「アカウントの削除」を押します。

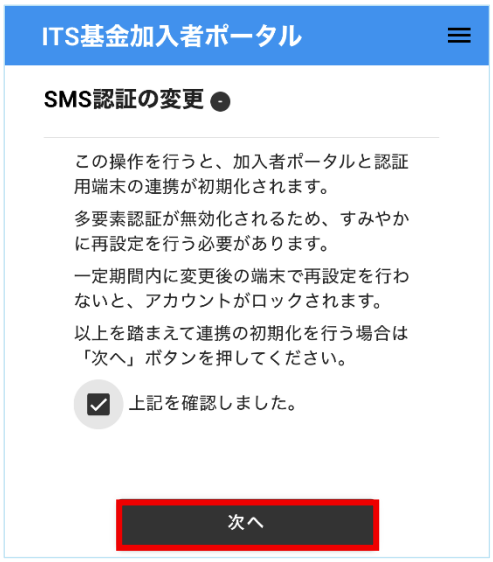
iii 確認モーダルの「続行」を押します。

◆SMS 認証の初期化

1.「SMS 認証の変更」の右にある「＋」を押します。

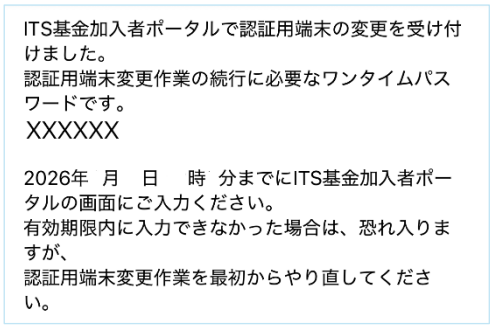


2. 表示される注意事項を読み、問題がなければ、チェックボックスにチェックを入れて「次へ」ボタンを押します。

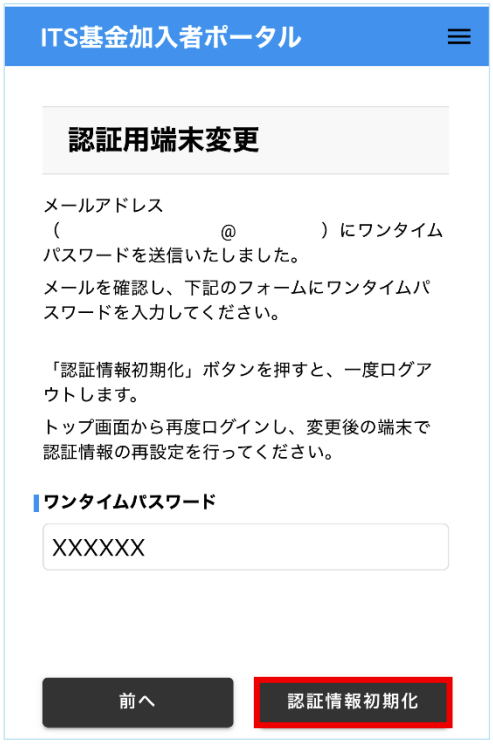


3. メールアドレスへワンタイムパスワードを記載したメールが送信され、加入者ポータルはワンタイムパスワードを入力する画面に遷移します。ワンタイムパスワードを入力し、「認証情報初期化」ボタンを押します。

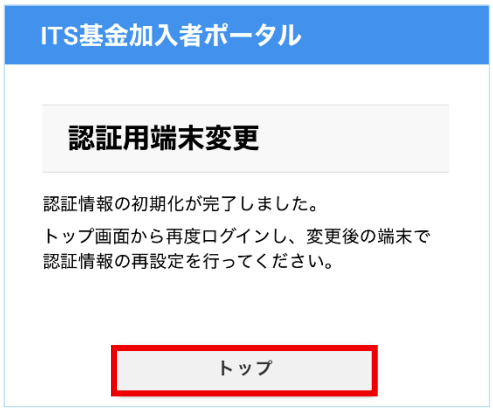
メール



加入者ポータル



4. 次の画面に遷移すれば、認証情報初期化は完了です。



トップ画面に戻り、認証方法を「アプリ認証」または「SMS 認証」のどちらかから選択して再度ログインすることで、新しい端末と加入者ポータルを紐づけます。この作業は初回ログインとほとんど同じになりますので、アプリ認証の場合はこちら、SMS 認証の場合はこちらをご参照ください。

ただし、入力するパスワードは初期パスワードではありません。サインイン画面でメールアドレスとご自身で設定したパスワードを入力すると、「パスワードの変更」画面を経由せず、直接「アプリ認証」画面または「SMS 認証」に遷移します。

※認証情報初期化後、10 営業日（基金事務局の営業日）以内に再ログインの作業を完了させないと、アカウントがロックされます。アカウントがロックされた場合は基金事務局または事業所管理者へご相談ください。